

各 位

会社名 サイボウズ株式会社  
 本店所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号  
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 青野 慶久  
 (コード番号4776 東証第一部)  
 問い合わせ先 IR担当  
 電話番号 03-4306-0808 (代表)

## 連結業績予想、個別業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年2月13日に公表した2019年12月期通期の連結業績予想、個別業績予想、および、2019年12月期配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 連結業績予想の修正

(1) 2019年12月期 通期連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年2月13日公表)	百万円 12,923 ～13,323	百万円 832 ～1,232	百万円 888 ～1,288	百万円 373 ～773	円 銭 8.13 ～16.85
今回修正予想(B)	13,189 ～13,289	949 ～1,249	990 ～1,290	386 ～686	8.41 ～14.95
増減額(B-A)	266 ～▲34	117 ～17	102 ～2	13 ～▲87	—
増減率(%)	2.1% ～▲0.3%	14.1% ～1.4%	11.5% ～0.2%	3.5% ～▲11.3%	—
(ご参考) 前年同期実績 (2018年12月期)	11,303	1,103	1,194	653	14.25

#### (2) 業績予想修正の理由

レンジの下限値は現時点の売上予測と投資予定費用から算出された予測値です。当社はクラウド事業の環境変化に対して機動的に対応し、都度最適な投資判断を実施することとしているため、この予測値は常に変動いたします。今回の修正としましては、売上予測と投資予定費用の見直しにより、レンジの下限値を変更しました。また、レンジ幅につきましても、現在の状況や過去の傾向に鑑み、前回発表予想の400百万円のレンジ幅から、売上については100百万円、利益については300百万円と変更し、それらを下限値に加算した数値を上限値といたしました。

前回発表予想に比べ、下限値の売上高につきましては、国内の売上が堅調に推移していることから、前回発表予想と比べて、266百万円増加し、13,289百万円となる見通しです。下限値の利益項目につきましては、投資予定費用の増加率が売上高の増加率に比べ少ないことから、営業利益は前回発表予想と比べ、117百万円増加し、949百万円、経常利益は前回発表予想と比べ、102百万円増加し、990百万円となる見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回発表予想に比べて13百万円増加し、386百万円となる見通しです。

## 2. 個別業績予想の修正

(1) 2019年12月期 個別業績予想値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年2月13日公表)	百万円 12,546 ～12,946	百万円 1,700 ～2,100	百万円 218 ～618	円 銭 8.13 ～16.85
今回修正予想(B)	12,828 ～12,928	1,986 ～2,286	254 ～554	5.54 ～12.08
増減額(B-A)	282 ～▲18	286 ～186	36 ～▲64	—
増減率(%)	2.2% ～▲0.1%	16.8% ～8.9%	16.5% ～▲10.4%	—
(ご参考) 前年同期実績 (2018年12月期)	10,943	1,742	562	12.25

(2) 業績予想修正の理由

今回の修正としましては、連結業績予想の修正理由と同様、売上予測と投資予定費用の見直しにより、レンジの下限値を変更し、レンジ幅につきましても、売上については100百万円、利益については300百万円と変更しました。

変更の理由については、業績予想の修正理由と同様であるため、記載を省略します。

## 3. 配当予想の修正

(1) 2019年12月期 配当予想値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回発表予想(A) (2019年2月13日公表)	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 —
今回修正予想(B)	—	0.00	—	7.00 ～11.00	7.00 ～11.00
当期実績	—				
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	—	0.00	—	9.00	9.00

(2) 配当予想修正の理由

当社は持続的な成長を目的としており、まずは、財務体質の一層の強化、設備投資や研究開発などの長期投資のための内部留保を考慮いたします。その上で、業績動向等を勘案し、株主の皆様の長期保有につながるような利益還元策の実施を基本方針としております。今回の修正としましては、一旦未定としていた期末配当予想を、1株あたり7円～11円に変更いたしました。クラウド関連事業のさらなる成長を目指して機動的に投資を実施する方針であり、業績予想と同様にレンジ幅で公表することといたしました。

以上